

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)

【公開番号】特開 2003-260230 (P2003-260230A)  
 【公開日】平成 15 年 9 月 16 日 (2003.9.16)  
 【出願番号】特願 2002-65807 (P2002-65807)  
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 28 日 (2005.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報を変動表示可能な可変表示装置と、

遊技媒体の挙動に起因して抽選を行い、その結果に基づいて所定の利益を伴う特別遊技状態を導出するか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段にて前記特別遊技状態を導出することが判定された場合に、通常モードに移行するのか、又は、前記通常モードよりも価値の高い特別モードに移行するのかを決定するモード決定手段とを備えた遊技機であって、

通常モード時においては、

前記モード決定手段により通常モードに移行することが決定された場合には、前記可変表示装置において前記識別情報を第 1 の特定の態様で確定表示し、前記特別遊技状態を導出し、その後通常モードに移行するように構成され、

前記モード決定手段により特別モードに移行することが決定された場合には、前記可変表示装置において前記識別情報を複数種類ある第 2 の特定の態様のうちいずれかで確定表示し、前記特別遊技状態を導出し、その後特別モードに移行するように構成され、

特別モード時においては、

前記モード決定手段により特別モードに移行することが決定された場合には、前記可変表示装置において前記識別情報を前記第 2 の特定の態様にて確定表示することをひかえて、前記第 1 又は第 2 の特定の態様とは別の態様で確定表示して、前記所定の利益がためられるように構成され、

少なくとも前記モード決定手段により通常モードに移行することが決定された場合には、前記可変表示装置において前記識別情報を前記第 1 の特定の態様で確定表示し、前記特別遊技状態を導出するとともに、当該導出に際しては、前記ためられた利益分に相当する特別遊技状態を導出するように構成され、

当該特別モード期間中に前記所定の利益がためられていた場合には、当該特別モード終了後の遊技における遊技モードを、再度特別モードとし、前記所定の利益がためられていない場合には、特別遊技状態終了後の遊技における遊技モードを、通常モードに移行するように構成されていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

特別モード時における当該特別モード期間終了の条件として、前記モード決定手段によ

り通常モードに移行することが決定されることが別条件が設定されているとともに、  
前記可変表示装置において前記識別情報が所定回数変動表示された場合に、特別モード  
期間終了の前記別の条件が成立したものと、当該特別モードを終了するように構成し  
たことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記特別モード期間において、前記識別情報が前記第 2 の特定の態様にて確定表示され  
ることがひかえられて、前記所定の利益がためられた場合には、前記所定回数を、前記た  
められた回数に応じて可変としたことを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記判定手段にて前記特別遊技状態を導出することが判定されるごとに、前記所定回数  
を変更可能としたことを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記判定手段は、前記抽選に際し、所定タイミング毎に更新される乱数カウンタの値が  
当たり値である場合に、前記特別遊技状態を導出することを判定するものであって、

前記特別モードは、通常モードに比べて、前記当たり値の数が多く設定され、前記判定  
手段にて前記特別遊技状態を導出することが判定される確率の高い高確率モードであるこ  
とを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 6】

前記遊技媒体は遊技球であり、当該遊技球の入球可能な作動口が設けられるとともに、  
当該作動口への入球に基づき、前記判定手段による抽選と、前記可変表示装置における変  
動表示と、遊技球の払出しとが行われるよう構成され、

前記特別モードは、通常モードに比べて、前記作動口がより開放される機会が高められ  
、当該作動口への入球機会が高められるモードであることを特徴とする請求項 1 乃至 5 の  
いずれかに記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

手段 2 によれば、前記特別モード期間中には、判定手段にて前記特別遊技状態を導出す  
ることが判定された場合であっても、可変表示装置において識別情報が特定の態様にて確  
定表示されることがひかえられ、前記所定の利益がためられる。そして、前記期間終了に  
際して、前記ためられた所定の利益分が加味された特別遊技状態が導出される。そのため  
、1 回あたりの特別遊技状態の導出に際しての遊技者に付与される価値が画一的なものとは  
ならず、遊技者にとっての面白味が増す。また、前記特別モード期間終了の条件として  
、複数種類設定されており、該複数種類の条件のいずれかが満たされた場合に、特別モー  
ドが終了させられる。このため、一旦特別モードとなった場合には、その終了に際し、遊  
技者に付与される価値がそのときどきによって相違しうるのであるが、その終了のパター  
ンも複数通り存在することとなる。このため、さらに遊技に面白味が付与されることとな  
る。また、特別モードの終了パターンが複数通り存在することから、終了パターンが 1 つ  
しかない場合に比べて、特別モードが終了させられる機会が増すこととなる。そのため、  
興趣のさらなる向上を図ったり、設計にバリエーションを持たせたりすることができる。  
併せて、特別モード期間において特別遊技状態の導出がひかえられてそれに対応する利益  
がためられた場合には、当該ためられた利益分を加味した特別遊技状態終了後の遊技にお  
ける遊技モードが、再度特別モードとなるよう構成されている。従って、前記利益がため  
られることで、表面上確定表示される識別情報の態様や種類とは関係なく特別モードが継  
続することがある。その結果、飛躍的な興趣の向上を図ることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 5 】

手段 9 によれば、遊技媒体の挙動に起因して可変表示装置では識別情報が変動表示される。また、判定手段では、遊技媒体の挙動に起因して抽選が行われ、その結果に基づいて所定ラウンド数の特賞状態からなる特別遊技状態が導出されるか否かが判定される。さらに、判定手段にて前記特別遊技状態を導出することが判定された場合には、原則として可変表示装置において識別情報が第 1 の特定の態様又は第 2 の特定の態様にて確定表示させられ、特別遊技状態が導出される。併せて、第 1 の特定の態様にて確定表示された場合には、特別遊技状態終了後の遊技における遊技モードが通常モードに設定され、第 2 の特定の態様にて確定表示された場合には、特別遊技状態終了後の遊技における遊技モードが通常モードよりも価値の高い特別モードに設定される。さて、上記手段 9 では、特別モード期間中には、判定手段にて前記特別遊技状態を導出することが判定された場合であっても、可変表示装置において識別情報が前記第 2 の特定の態様にて確定表示されることがひかえられ、所定ラウンド数からなる特賞状態がためられる。そして、期間終了に際してためられた所定ラウンド数の特賞状態分を加味した特別遊技状態が導出される。そのため、1 回あたりの特別遊技状態の導出に際しての遊技者に付与される価値が画一的なものとはならず、遊技者にとっての面白味が増す。また、前記特別モード期間終了の条件として、前記第 1 の特定の態様にて確定表示されることとは別に、別の条件が設定されており、いずれかの条件が満たされた場合に、特別モードが終了させられる。このため、一旦特別モードとなった場合には、その終了に際し、遊技者に付与される価値がそのときどきによって相違しうるのであるが、その終了のパターンも複数通り存在することとなる。このため、さらに遊技に面白味が付与されることとなる。また、特別モードの終了パターンが複数通り存在することから、終了パターンが 1 つしかない場合に比べて、特別モードが終了させられる機会が増すこととなる。そのため、興趣のさらなる向上を図ったり、設計にバリエーションを持たせたりすることができる。併せて、特別モード期間において、第 2 の特定の態様にて確定表示されることがひかえられ、特賞状態がためられた場合には、当該ためられた特賞状態分を加味した特別遊技状態終了後の遊技における遊技モードが、再度特別モードとなるよう構成されている。従って、前記特賞状態がためられることで、表面上確定表示される識別情報の態様や種類とは関係なく特別モードが継続することがある。その結果、飛躍的な興趣の向上を図ることができる。